

平成 27 年 8 月 20 日

公益社団法人 日本技術士会
近畿本部機械システム部会 各位

公益社団法人 日本技術士会
(主催) 原子力・放射線部会
(協力) 近畿本部 機械システム部会
部会長 飯野 勝彦

日本技術士会原子力・放射線部会主催 「第 46 回技術士の夕べ」Web 講演会開催のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

原子力・放射線部会主催「第 46 回技術士の夕べ」Web 講演会を、下記のとおり開催いたします。

今回は、“リスク”をテーマに、「一般人のリスク認知と専門家のリスク評価の齟齬」という題目で、社会心理学を研究されている中谷内一也 同志社大学教授にご講演いただきます。機械システム部会を構成する技術士にとって非常に興味深いテーマですので、奮ってご参加頂きますようお願い致します。

敬具

記

1. 日時：平成 27 年 9 月 25 日（金）18:00 ～ 20:00（17:30 から受付開始）
2. 場所：日本技術士会近畿本部 会議室（日本技術士会葺手第二ビルと Web 中継）
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館ビル 2 階
(TEL 06-6444-3722)
アクセス：地下鉄四ツ橋線 本町駅 25・28 番出口から北へ徒歩約 3 分
3. 演題 「一般人のリスク認知と専門家のリスク評価の齟齬」
4. 講師 中谷内 一也（なかやち かずや）氏（同志社大学心理学部教授）

講師略歴

大阪生まれ。同志社大学文学部心理学専攻を卒業。同大学院を単位取得退学後、日本学術振興会特別研究員、静岡県立大学、帝塚山大学を経て現在に至る。

専門は社会心理学で、特に人々の安全・安心の心理や信頼の問題について研究を進めている。主な著書は「安全。でも安心できない（ちくま書房、2008 年）」、「リスクのモノサシ（NHK ブックス、2006 年）」など多数。

5. 講演概要

専門家がリスク評価を一般の人びとに伝えても、「理屈をわかってもらえたはずなのに納得されない」、「理解されたはずなのに行動は変わらない」というかたちで、反応に違和感を覚えることがある。それは専門家によるリスク評価と一般の人びとの直感的なリスク認知との基盤が違っているためと考えられる。本講演ではその相違を心理学理論に基づいて検討する。まずは、「ある行為にともなって生じる結果のひどさとその生起確率」というリスク定義に添った場合の、人びとの確率判断や結果のひどさの判断にどのような特徴があるのかという問題にアプローチする。さらに、そのような定義を離れて人々のリスク認知がどのようなものかを説明しようとするリスク認知の2因子モデルについても解説する。最後に、直感的なリスク認知をもたらす、心理学的な判断基盤がどういった構造をもつのかについて検討する。

本講演で、専門家がリスクを伝える活動の一助となれば幸いです。

6. 参加費（近畿本部）： 無料（Web 中継につき）

7. 参加申し込み

次のEメールアドレスへ「会員（技術士（補）、部門）」又は「非会員」を明記の上、「講演会参加」とご連絡下さい。

Info@mechasys.ipej-knk.jp（迷惑メール防止のため、@の前に半角スペースが入っています。上記アドレスにメールをお送りの際は、半角スペースを削除して下さい。）

また、近畿本部の機械システム部会の例会申込み画面からも、申し込みが可能です。必要事項を入力した上で、送信ボタンをクリックすると申し込みができます。

以上